

第82番札所 青峰山 千手院 根香寺

— 「牛鬼」伝説が残る、深山幽谷の古刹 —

本尊：千手観世音菩薩（秘仏）
所在地：香川県高松市中山町1506
TEL：087-881-3329
宿坊：なし



あたり一面、樹齢を重ねた木立が生い茂る、幽玄な趣。瀬戸内海に突き出してそびえる「五色台」と呼ばれる溶岩台地の山中にあり、山門に一步足を踏み入ると、目の前に木漏れ日が落ちる長い石段が現れます。いったん石段を下り、また石段を登った先に本堂がある、山寺ならではの境内で、春はやわらかな若葉、初夏は眩しい緑、秋は真っ赤に染まる紅葉、冬はしなやかな枝木のシルエットと、年中通して美しい参道が参拝者の目と心を癒してくれます。

縁起によると、入唐前の弘法大師がこの地を訪れた際に、五色台の5つの峰に、密教を象徴する五仏を感じ、それらの化身である五大明王をまつて花蔵院を建てたのがはじまり。その後、弘法大師の甥にあたる円珍（智証大師）が、霊木で千手観音を造り本尊とし千手院を建立。以降、この二つの院を総称して「根香寺」と号したそうです。なお、この寺名は、千住観音を刻んだ霊木の根株が、長い間、芳香を放ったことに由来しています。

また、この寺にはとある怪物にまつわる伝説があります。それは「牛鬼」と呼ばれる怪物で、土地の人や家畜に危害を加えて、人々を苦しめていました。退治を依頼された弓矢の名人の山田蔵人高清は、寺で鬼退治を祈願し、満願の日に、無事、退治できたそうです。寺には、退治した際に切り取った角と伝わるものが保管されており、山門の外には、残された絵を元に造られた牛鬼の像が立っています。今では魔除けの効果があるというこの牛鬼。見所のひとつとして見逃せません。

